

姫天だより

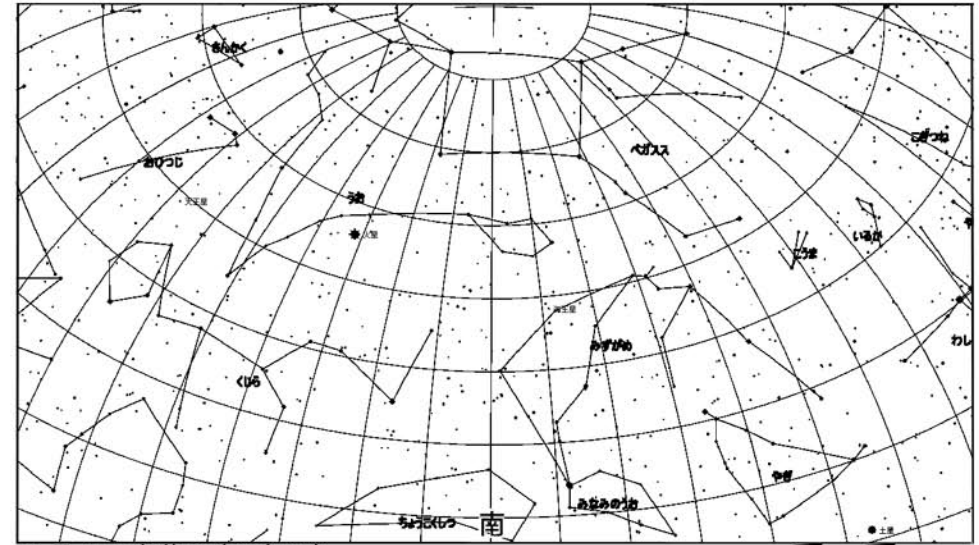
★今月のテーマ 火星とアンドロメダ大星雲を観る会

火星は地球から遠ざかりつつありますが、まだまだ南の空高くうお座に輝いています。そして今年は月明かりのない好条件でしし座流星群のピークを迎えます。極大日は17日火曜日ですが、観望会当日も見られる可能性があります。観望中に流れ星が見られるといいですね。

月明かりがないという事は、淡い星雲も観察のチャンスです。私たちの住む天の川銀河のお隣の銀河、アンドロメダ大星雲を観察します。天頂近くを通りますから条件が良ければ可児市の中でもぼーっとした雲のような姿が肉眼でも探せるかもしれません。

また、秋の星座はペガサスの四辺形を使って探すのですが、その星座たちによって一つの大きな物語になっています。映画にもなっていますからご存知の方も多いでしょうが、エチオピア王家の物語あるいは、勇者ペルセウスの冒険物語の外伝や恋物語としての一面もあります。秋の星座は大きなものが多く、暗い星までつなぐとその姿が浮かび上がってくるところが素敵なんです。そのためには想像力が必要です。

私たちと一緒に、秋の星座の見つけ方を覚えてみませんか？



11月15日午後8時の南の空

11月号
2020

-次回の天文クラブ-

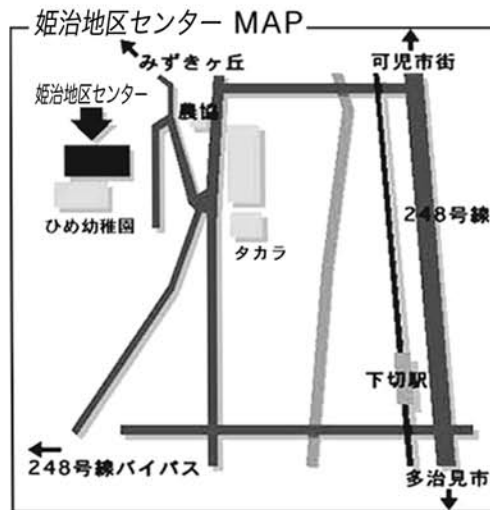
●11月の星を見る会

11月14日(土)午後7時30分より
獅子座流星群の話
秋の星座観察

●12月の星を見る会

12月12日(土)午後7時30分より
火星の観察
冬の星座観察

姫治地区センター
岐阜県可児市下切 1530
☎0574-62-0104
姫治天文台
<http://himeziten.yu-yake.com/>



JR太多線下切駅より徒歩13分
2020年11月1日発行

※観望会についてのお問い合わせは
姫治地区センター (62-0104) まで

★今月の星座 うお座

11月下旬には午後8時頃に頭の真上に見つけることができます。黄道12番目の星座で星占いにも出てくる星座ですが、一番明るい星でも4等星で大きくもあり現在では春分点もこの星座の中にあり有名な割には、探しにくい星座です。

見つけ方は、頭の真上に来る時間にペガサスの四辺形を見つけ、その東側と南側を取り囲むようにローマ字の“L”の形に結ばれた卵形に並んだ2匹の魚を探してみてください。今年は南側のリボンの近くに赤い火星が輝いていますから見つけやすいと思います。

うお座の星座絵を見ると、リボンのようなひもで2匹の魚が結ばれていますが、アンドロメダ座のほうを向いている魚を“北の魚”といい、ペガサスの四辺形の南側にある魚を“西の魚”といいます。見つけにくい星座ですが、見つけられると星座絵の姿が描かれる素敵な星座のひとつです。リボンの結び目に当たる α 星には名前がついています。4等星ですがその名のおリアル・リスカ(結び目)の意味です。

星座の中の見所に、この星の近くにはいくつかの銀河が見られますが明るいものはありません。しかし、小口径の望遠鏡で楽しめる渦巻銀河M74があります。

星座の神話では、愛と美の女神アフロディテと、その子エロスがユーフラテス川の岸辺を歩いていたときに、怪物テュフォンに襲われたため、魚の姿に変身して逃げたときの姿だと言われていました。互いの尻尾がリボンで結ばれているのは、逃げる際に川の中で離れ離れになって迷子にならないように、ドレスの腰ひもで互いの足首を結んでいたからだといわれています。